



肝 炎 コ ー デ ィ ネ ー タ ー を よ り 身 近 な 存 在 に

令和 7 年度も前半も終わりましたが、残暑も厳しく、10月になってようやく秋の深まりを感じる頃となりました。

本号で「本通信」も第10号を迎えることができました。これもひとえに皆さまの温かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

今後も、現場での実践に役立つ情報をお届けできるよう努めてまいります。

イラスト提供：京都肝炎友の会

第 10 号の内容

【お知らせ】世界肝炎デー報告

令和 7 年度【前期】京都府肝炎コーディネーター養成研修報告

令和 7 年度【後期】京都府肝炎コーディネーター養成研修のご案内

【特集】カンゾーさんが行く 「京都大学医学部附属病院の取組について」

【Q & A】 京都府肝炎コーディネーターの職種の構成

【お知らせ】

世界肝炎デー（7 月 28 日）、啓発イベントを開催。

開催日：令和 7 年 7 月 31 日（木曜日）12 時～13 時

開催場所：ゼスト御池地下街河原町広場

7 月 28 日の世界肝炎デー（日本肝炎デー）にあわせて、京都肝炎友の会及び京都市と協働し、肝炎ウイルス検査の必要性を知っていただき多くの方に検査を受けていただくよう啓発活動を実施しました。

今回は、会場をそれまでの御幸町広場から河原町広場に変更、通行者の多い地下鉄の改札口近くで開催、京都府広報監まゆまろも参加して肝炎関連のチラシ、うちわ、ウェットティッシュを配布して啓発活動を行いました。

また、京都肝炎友の会、京都府肝炎コーディネーターによる相談会にも、多くの方がお越しくださいました。



令和7年度【前期】京都府肝炎コーディネーター養成研修（新規・継続）の報告

要領の改正にともない、今回から既認定者へのフォローアップを目的とした受講も可能としており、53名の既認定者が受講されました。

（申込期間）令和7年6月2日（月）～6月30日（月）

（対象者） 医師、歯科医師、薬剤師、産業保健師、看護師、栄養士、医療事務
患者及び家族、自治会、自治体職員（全ての対象者）

（既認定者の合格者） 53名

（新規認定者） 98名

令和7年度【後期】京都府肝炎コーディネーター養成研修（新規・継続）の案内

初めて受講される方：養成研修の受講と認定試験の合格により、認定されます、
既認定者の方：養成研修の受講と認定試験の合格により、再認定の要件となります。

（申込期間）令和7年12月1日（月）～令和8年1月20日（火）

（対象者） 医師、歯科医師、薬剤師、産業保健師、看護師、栄養士、医療事務
患者及び家族、自治会、自治体職員（全ての対象者）

◆京都府肝炎コーディネーターの各種申し込みフォームが変わります。

案内チラシ記載のURL（又はQRコード）から申込画面で、簡単に申し込みが可能です。

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=315

肝炎コーディネーター養成研修会（新規・継続）【後期】のご案内

主催：京都府・京都府肝炎地域連携の病院（京都府立医科大学附属病院・京都大学医学部附属病院）

京都府では、肝炎対策を各地域で進めるため、「肝炎コーディネーター」を養成しています。この度、肝炎コーディネーター養成研修会をフルオンライン配信で開催します。この機会に、「ウイルス性肝炎」について学んでみませんか。↓
また、本研修会は、既認定者の認定期間における再認定要件としての継続研修も兼ねております。

ステップ0「参加」
・肝炎に関する基本的な知識の普及・啓発
・B型肝炎ワクチンの定期接種
・相談窓口の案内

ステップ1「基礎」
・肝炎ウイルス検査の受検勧奨
・検査が受けられる医療機関、検査機関の紹介

ステップ2「実践」
・肝炎検査陽性者への受診勧奨
・専門医療機関や地域病院、肝疾患相談の紹介
・国・県・市町村や近隣検査費用助成の案内

ステップ3「発展」
・医療費助成や障害者手帳等の制度の案内
・相談指導
・仕事・治療の両立支援
・肝炎ウイルス治療後の定期受診の勧奨

※ **仕事先に関わる** 患者／府民に対しそれぞれの立場を生かしてアプローチする

開催方法 **フルオンライン配信**
※都合の良い時間に視聴することができます（スマホからも視聴できます）

申込期間 令和7年12月1日（月）～令和8年1月20日（火）

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=315

受講の流れ ①URL又はQRを読み取り、申込期間内に申し込み
②講義動画視聴用（YOUTUBE）のURLが記載されたメールが届く
③自分の都合の良い時間に講義を視聴（視聴期限：令和8年1月20日）
④メール内のURLから認定試験に解答（解答期限：令和8年1月30日）
※合格者には採点結果と認定申請の通知が届きます
※お申し込み後、研修会に関する連絡はご負担ください。

対象者 京都府内勤務の**すべての対象者**（無所属の場合は京都府内に居住する方）
医師、歯科医師、薬剤師、産業保健師、看護師、臨床検査技師、栄養士、医療事務
患者及び家族、自治会、自治体職員（既認定者の方も対象です。）

◆プログラム◆

基礎編 1.肝炎コーディネーター制度について（動画）約5分
2.ウイルス性肝炎とその治療（動画）約34分
3.肝炎患者による講演（動画）約24分
4.京都府の肝炎対策（PDF：無料肝炎検査、助成制度等）

応用編 1.B型肝炎の病態と治療（動画）約25分
2.C型肝炎の病態・治療薬について（動画）約30分

※視聴は、いずれかの基盤機。

事務局：京都府健康福祉部健康対策課がん対策係
電話：075-414-4705（直通） 受付時間：平日9時～17時 メール：kenta@pref.kyoto.lg.jp



【特集】 カンゾーさんが行く 京都府肝炎コーディネーター インタビュー

今回は、京都大学医学部附属病院消化器内科の高井淳先生にお話を伺いにきました。

京都大学医学部附属病院での肝炎対策についての取組について、患者さん向けのリーフレットを作成されたそうですが、どのようなものですか？

「ウイルス性肝炎が原因の肝がん・重度肝硬変の方への医療費助成のご案内」です。

本制度は、該当する患者さんにとって大きなメリットがあるものであり、昨年度には助成要件の緩和も行われました。しかしながら、制度の周知が十分とは言えず、院内において制度の対象となる症例の登録を促進することを目的として、本案内を作成しました。

現在は、外来や病棟において薬物療法による経済的負担が大きい患者に対し、主治医や医療スタッフから制度の案内を実施しています。今後は、対象者をより効率的に把握できるよう院内フローの整備を進めてまいります。会計事務職の方々のご協力が理想的であり、院内での制度周知を強化しています。また、肝疾患相談センターでの面談時に、該当する患者さんに制度をご紹介することも、今後の課題として検討しています。



償還払い請求について

■ 滞院に係る医療費については、保健福祉事務所への償還払い請求が必要です。

入院の場合
 入院費等を指定医療機関窓口にて請求すると、自己負担額が1万円になります。
 ※同一の病棟かつ同一診療科目における1病室の人数で、高額療養費を請求する場合は1病室1万円です。
 ※療養費を請求する場合は、滞院中に請求できません。
 ※退院後、一部負担金を支払い、退院後、医療費返還時に返還請求してください。

滞院の場合
 後日保健福祉事務所に償還払い請求をすることで、自己負担額が1万円になります。
 ※高額療養費は滞院期間と自己負担額1万円との差額を自己負担分により減額。

■ 償還請求の流れ

償還払い請求時に提出する書類

- ☐ 請求書（滞院期間・滞院日数）
- ☐ 請求書の添付書類（滞院期間・滞院日数）
- ☐ 滞院期間の滞院日数
- ☐ 滞院期間の滞院日数
- ☐ 滞院期間の滞院日数

- ☐ 滞院期間の滞院日数
- ☐ 滞院期間の滞院日数
- ☐ 滞院期間の滞院日数
- ☐ 滞院期間の滞院日数
- ☐ 滞院期間の滞院日数

■ 更新の手続き

参加者証の「有効期限」は原則1年間です。ただし、更新することができます。
 更新申請に必要な書類は滞院区分によって異なります。
 詳しくはお住まいの地域の保健福祉事務所までお尋ねください。

◎必要書類（例）

- ☐ 滞院期間
- ☐ 滞院期間
- ☐ 滞院期間
- ☐ 滞院期間
- ☐ 滞院期間

- ☐ 滞院期間
- ☐ 滞院期間
- ☐ 滞院期間
- ☐ 滞院期間
- ☐ 滞院期間

※滞院期間の滞院日数は滞院期間です。
 ※滞院期間の滞院日数は滞院期間です。
 ※滞院期間の滞院日数は滞院期間です。

ウイルス性肝炎が原因の 肝がん・重度肝硬変の方へ 医療費助成のご案内

お問い合わせ先

京都大学医学部附属病院
 【肝疾患相談センター】
 （月・水・金曜日 午前10時～12時）
 ※受付は1階受付窓口にて

Tel. 075-751-4701

【保険福祉課】
 （場所：外来棟1階患者総合サポートセンター内）

Tel. 075-751-3055

患者さんに医療費助成をもっと活用してほしいのですが、申請手続きの煩雑さや周知不足もあり、活用が進んでいないのが現状です。このようなリーフレットがあると、肝炎コーディネーターから患者さんへの説明もしやすく、ご理解いただけるかと思います。

本リーフレットは、京都大学医学部附属病院のご好意により京都府ホームページでダウンロードできるようになりました。

URL は、<https://www.pref.kyoto.jp/kentai/kanencoordinator2.html>



京都大学医学部附属病院肝疾患相談センターでは、肝疾患に関する電話相談を受け付けています。この度、さらなる周知を目的として、相談案内リーフレットを作成し、外来など病院内に掲示・配布いたしました。

患者さんからの治療や助成制度等に関する相談はもちろんのこと、肝炎医療コーディネーターや医療関係者からの相談・質問にも対応できますので、ぜひご活用ください。



肝炎に関する相談窓口が紹介されていて、ありがたいです。

本リーフレットは、京都府ホームページからダウンロードできるので、ご活用ください。

[京大病院 肝疾患相談センター案内 チラシ](#)



京都大学医学部附属病院
肝疾患相談センター

肝臓のご相談は
こちらまで！！

月 水 金 10:00 ~ 12:00

■相談はこんな方におすすめです■

- ALT・ASTが高め、γ-GTPが高いなど気になる症状がある
- 医療機関に行くべきかどうか迷っている
- 肝疾患について、ネットで調べるほど不安になってくる

■安心してご相談いただけます■

- 匿名での相談、ご本人以外のご家族からの相談も可能です
- 専門の相談員（医師）が対応します
- 些細な事でもご相談ください
- ちょっとした不安が、相談を通じて「安心」に変わるからかもしれません

【電話相談】 ☎ 075-751-4701
毎週月・水・金 10:00～正午12:00（祝日及び年末年始は除く）
京都大学医学部附属病院 肝疾患相談センター

最後に、今回の、「Q&A」でも取り上げていますが、京都府肝炎コーディネーターの職種も医療担当から啓発担当まで多職種の拡がりを見せております。

先生のご意見を聞かせてください。



京都大学医学部附属病院でも、多職種による肝炎医療コーディネーターの配置が進んでいます。先日、Web ミーティングで肝炎医療コーディネーター会議を開催しましたが、薬剤師・看護師・管理栄養士・臨床検査技師など様々な職種の方が、肝炎ウイルス検査勧奨などに熱心に取り組まれています。ただ、肝炎医療コーディネーターの資格を取っても患者さんと接する機会が限られている場合もあるようです。また、啓発活動を担う担当者、特に事務職との連携についても、今後の課題と認識しています。

肝炎ウイルス検査・治療については、消化器内科以外の診療科への啓発が必要と考えています。薬物依存症の患者さんの診療に当たる精神科や、歯科や口腔外科などの観血処置の多い診療科への展開も重要です。また、臨床検査部と相談し、肝炎ウイルス検査の受検者を対象とした結果説明・案内用紙の整備についても検討を進めています。依然として多くの課題が残されている状況で、各職種の肝炎医療コーディネーターの活躍に期待しています。



前号でご紹介しました「洛西ニュータウン病院」「武田総合病院」にありましたように病院単位で肝炎コーディネーターの多職種化が進んでいる傾向がうかがえます。

高井先生、本日はありがとうございました。



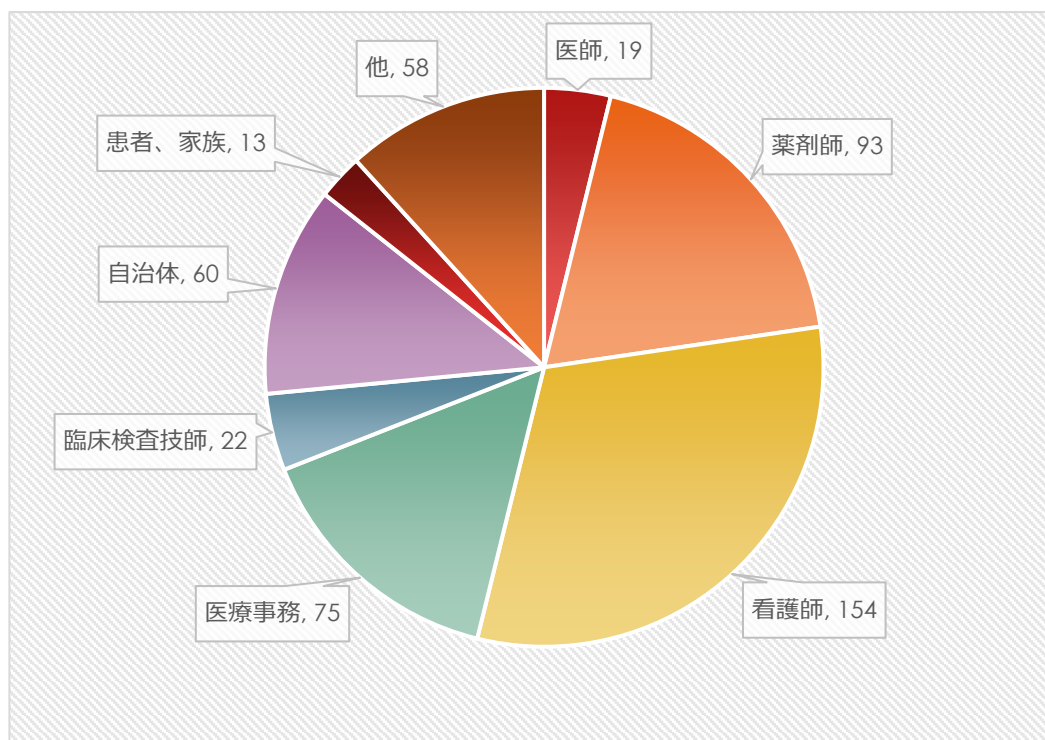
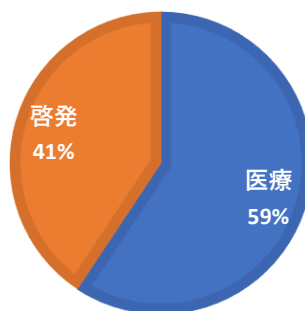
【Q&A】 このコーナーでは素朴な疑問にカンゾーさんがお答えします。



京都府肝炎コーディネーターはどのような職種の方
がいるのかな？

現在、京都府肝炎コーディネーターは、495 名で、医療担当(293 名)、啓発担当(202 名)となっており、医師・薬剤師・看護師などの医療担当者はもちろんですが、最近では、医療事務の認定者も増えてきています。

病院のなかで、医療／啓発担当の肝炎
コーディネーターの連携による活動が、
患者の肝炎の「予防」「受検」「受診」「受療」
に効果的につながっていると思われます。



【その他のご案内】

活動報告

令和6年度までの認定者の方に「令和7年度活動報告」をお願いします。
「報告」のご案内は11月初めに、郵送またはメールにて送付します。

再認定の申請

令和元年度認定者、および令和4年度認定者の方には、任期満了にともない、「再認定申請」のご案内は11月初めに、郵送またはメールにて送付します。
「再認定」には、必要要件があります。

※京都府肝炎コーディネーターの再認定の要件（抜粋）以下のいずれかを満たすこと。

- (1) 在任中に府又は京都府肝疾患診療連携拠点病院が実施する肝炎コーディネーター養成研修又は継続研修を受講した者
- (2) 在任中に活動状況報告を提出した者
- (3) 在任中に肝炎患者等を支援する市民公開講座、肝臓病教室、患者サロン等に参加した者

ご寄稿

肝炎コーディネーターの方に、コーディネーター通信への寄稿を募集しています。

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=298



啓発資料

患者への啓発活動にご活用ください。



https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=326



～ カンゾーさんの編集後記 ～

後記文

肝がん・重度肝硬変医療費助成制度は、高額な分子標的薬などの治療にかかる患者負担を軽減することを目的として実施されています。制度の周知に向けて、本号でご紹介したリーフレットをご活用いただき、各地域での好事例が広く共有・展開されることを期待しております。

発行：京都府肝炎コーディネーター事務局

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府健康福祉部健康対策課

電話：075-414-4766 FAX：075-431-3970 kentai@pref.kyoto.lg.jp